

進歩と発展

進歩とは反省の厳しさに正比例する。―本田宗一郎

反省がいかに疎（おろそ）かにされていたか、それだけ権力の奢りが見えず、天を忘れた罰の必然があった。

企業献金」が全面禁止され、「天下り」が全廃されれば日本の政治は間違いなしに劇的に変わる。

「革命」と呼ぶべき変化が起こる。「官僚のための政治」「大企業のための政治」「政

治屋と官僚のための政治」が終焉し、「国民のための政治」が日本史上初めて成立する。

発展とは革新的な変革、次元を超えるものです。我国の社会が発展するかは、個人の意識と責任感で決します。

明治維新と敗戦に並ぶ

「シドニー」高佐知宏」31日付の豪有力紙オーストラリアンは1面で大きく民主党の「地滑りの勝利」を伝え、今回の政権交代を「明治維新と戦後復興に並ぶ出来事」と解説した。

この中で同紙は「（次期首相となる）鳩山氏の大衆迎合的な経済政策は危険を伴う」と述べ、民主党政権が市場経済から一定の距離を置く可能性を示唆。日豪間の懸案である経済連携協定（EPA）交渉については「鳩山氏が貿易の完全自由化に踏み切るとは考えにくい」としながらも

「妥結に向け多少、譲歩するかもしれない」との見方を示した。

外交面では「米国からより独立した立場をとるだろう。豪州とは緊密な関係が続く」との見方を示した。

イスラエルの民放チャンネル2では30日夜のニュースで、政権交代が決まった日本の衆院選の結果を「日本の歴史的な転換」と報道、変革を訴えて圧勝した民主党の鳩山由紀夫代表を、米大統領を引き合いにし、「日本のオバマ」と紹介した。

地方外国人参政権、人権擁護法案、こんな有害なものも民主党が優先し始めたら、国民は野党に世論的に圧力をかけ、国会でそれを糾弾させ、速やかに民主

変よ民主

党を潰せばいいのだ。だが、今の局面は民主党に悪徳・ベンタゴン（政・財・官・報道・外国）の基礎骨格を破壊させ

る方が先決である。旧自民党と旧社会党勢力の混成チームとなっている民主

党は、わずかな外力が作用するだけで、右にも左にもすぐ動く脆弱さを持つ。これをまとめる求心力は与党では小

逆境はチャンス の裏側

西田文郎さんの言葉です。「苦境にある方は、いま自分は本物かどうか天の篩（ふるい）にかけられているのだと考えていただきたいです。自分の耐える能力、突破する能力を試されているのだと。」

苦境は天があなたを試しているのです。そう思うと、「冷静さ」が出てきます。そして、「それではこの苦境をいかに乗り越えようか」との

ゲーム感覚、楽しさのようなものが湧いてきます。頭が柔らかく、柔軟になりますので、

東に向かって先祖に、西に向かつて家族に、南に向かつて恩師に、北に向かつて友人に、そして天地に向かつて自然に感謝して下さい。政治も同じ、トップの「志の高さは、自分が幸せに出来た人の数」です。自民の「カネ」ではありません。

西田文郎さんは、北京オリピックで金メダルをとった女子ソフトボールチームのメンタルトレーニングをされた方です。



沢一郎氏のみである。彼の持つ田中角栄譲りの胆力だけが、日本の混迷脱出の鍵となる。

私は日本にとって、最もまともな政党思想を持つのは国民新党、特に亀井久興氏は良識の頂点にある偉大な政治家であると確信するものです。



(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
 2009年9月3日 (木) N058
 地域から明るい未来を作ろう